

神奈川山梨教会連合会だより

かりん

ご挨拶

連合会長 福田 光 一



本年は、立教一五〇年という本教にとって、全教信奉者にとって、誠に意義深く大切なお年柄を迎えさせて頂き、連合会にとりましても思いを込めて各行事、各部会に心して取り組ませて頂きたいと思えます。

去る一月二十八日、難波教会初代・近藤藤守先生の例年祭に参拝して参りました。教祖様を本当の親以上に敬い慕われた藤守先生は、その講話集の中で、教祖様が安政六年に立教神伝を受けられてから明治十六年にご帰幽になられるまで、その御用の場が六畳一間で破れ畳と荒れムシロであったことを思うと、後に世界の名教と呼ばれる一教の開祖の部屋とは思えない粗末な所で、

天地の親神様の御神徳と御神願を受けられ、ひたすら祈る中に、助かる人が日に日に増えて行かれるのをご覧になり、親神様のご比礼の尊さを思うばかりで、一度も不自由さを申されなかったと、教祖様のご一生の尊さを賛仰しておられます。

この天地の親神様の願いと教祖様の祈りを受けての今日我々信奉者は、おかげの中、ご信心を形として表し、さらに世に表して行かねばなりません。

寒信行、立教一五〇年記念講演会を経て、五月からの教会長信行会、八月八日からの一〇〇日信行、そして立教一五〇年生神金光大神大祭とお年柄の各行事を頂くと共に、五〇年前の立教一〇〇年祭に竣工し盛大にご祭典が行われ、昨年より耐震補強工事に取り組んでいる祭場の工事の成就と建設中の北ウイングの完成、それに伴う資金のお繰り合わせを願って参りたいと思えます。

連合会活動としましては、他に人材の育成、教信徒一体の布教活動、来年に向けての取り組みを中心に、研修会、つどいなどの各行事の遂行。『かりん』の発行やホームページの活用展開に努めて参りたいと思えます。

どうぞ、残る二年の任期にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

関東教区立教一五〇年

記念講演開催される

平成二十一年二月八日(日)、東京都豊島区豊島公会堂へみらい座いけぶくろ〜において、関東教区立教一五〇年記念講演会が開催された。

実行委員長の小柴宣和金光教東京センター所長の挨拶に始まり、ビデオ『ひとすじの道』が上映され、記念講演として、福岡教会長・吉木美智雄先生による『結界取次



は、天地の乳房』という講題で、一時間半のお話があり休憩を挟んで、吉備舞が奉納された。

吉備舞では、楽人に当連合会の桜井君江先生(鶴見教会)ほか五名が奉仕され、鶴見教会の芳村紘恵さん、友香里さん姉妹が舞を披露した。引き続き東光合唱団と首都圏合唱団による歌が披露され、最後に全員で「新しいいのち」を合唱して、閉会した。



お繰り合わせを頂いて

二月八日(日)に行われた、関東教区立教一五〇年記念講演会では、最初にビデオ『ひとすじの道』の上映、続いて福岡教会長の吉木美智雄先生による『結界取次は、天地の乳房』の講演があった後、吉備舞です。

豊島公会堂の控室では、本番前の舞人さん達が準備をしていたのは、鶴見教会の芳村紘恵さんと友香里さん姉妹だ。

芳村さん姉妹は、昨年十二月十四日の御本部報徳祭で、吉備舞の御用をされた。

芳村さん姉妹にとっては、初めての御本部での御用であり、指導者の山部先生姉妹(千葉県君津教会)にとっても、指導者として初めての御用であった。

報徳祭の約一年前から練習に励んできたが、前日の習礼(祭場でのリハーサル)では上手いはず、緊張と焦りで一杯になったと言う。「習礼は一度だけでしたが、舞人二人は凄く緊張するし、全然上手くいきませんでした」。

それでも当日になると、色々な人から手助けを頂けて、本番では練習の成果を出すことが出来、素晴らしい舞をお供えすることが出来た。

出発前には君津教会長から、「神様がついて下さってるから大丈夫」とお取次頂きましたが、本当に不思議なほどお繰り合わせ



せを頂き、舞人二人も落ち着いて、無事奉納させて頂きました」。

おかげを頂いたのは、神様のおかげの他に、色々な人のお祈り添えがあったからと、芳村さん姉妹は言う。

「子供の頃は、鶴見教会で年に一回の吉備舞が精一杯で、本部で奉納させて頂くなんて考えたこともありませんでした。それでも今回、御本部で吉備舞を奉納させて頂

くことになったのですが、後から聞いた話では、私達のおばあちゃんがずっと『ぜひ御本部で吉備舞を』と、私達が子供の頃から祈ってくれていたそうです。当日はおばあちゃんが総出でお参りされ、応援して下さいました。すごく力を頂き、ありがたかったです」。吉備舞後、あちこちから「とてもいい舞だった」との声が聞かれたと言う。

今日の講演会での奉納舞も、舞人二人の息と桜井君江先生ら楽人方の息がぴったり合った、素晴らしい舞であった。

《お知らせ》

祝 金光大阪高校 甲子園出場!!

金光大阪高等学校が1月23日、第81回選抜高校野球大会に7年ぶり2回目の出場を決めました。

組合せ抽選は、3月13日(金)に行われ、3月21日から12日間、甲子園球場で32校による熱戦が繰り広げられます。

今回は首都圏からの応援バスの運行はありませんが、球場で応援する人については試合当日に、球場でチケットの配布を予定しています。

試合日程が決まり次第、各教会宛に発送致します詳細をご参照ください。

平成21年度 神奈川山梨教会連合会総会報告

去る一月三十一日(土)、午後一時三十分から神奈川教会において「神奈川山梨教会連合会総会」が開催された。



南清孝副会長の開会宣言の後、奥川美智雄副会長の先唱によって「ご祈念が仕えられ、続いて福田光一会長より「立教一五〇年の御年柄を迎えるにあたり、教師部・信徒部をはじめとする各行事や、秋の新幹線臨時列車での円参などへの参加のお願いをすると共に、それらを通して改めて教祖様の信

平成21(2009)年度 神奈川山梨教会連合会事業計画

◆ 基本方針 ◆

お年柄の意義を受け、金光大神の信心を求め現す

◆ 活動方針 ◆

1. 立教150年を迎え、改めて教祖様の信心を頂く
2. 独立110年に向けての取り組み
3. 教師信徒一体となつての布教活動及び、社会活動の推進
4. 人の助かる人材の育成

心を求めてまいりたい」と挨拶があった。出席教会は、二十教会（出席十九教会、委任状一教会）で、出席状況の内訳は、教師出席十四名、委任四名、欠席一名。信徒出席十五名、委任六名、欠席一名だった。議長には、高橋健雄先生（藤沢教会）が選任され、①平成二十年度事業報告、②平成二十年度決算案、③平成二十一年度事業計画案、④平成二十一年度予算案、⑤その他として組織図の変更について審議され、原

案通り承認された。

☆組織図の変更について

布教部次長の高橋紀代士先生が退任され、ホームページ担当が、花田律生氏（横須賀教会）から上杉秀一氏（平塚教会）へ変更された。

☆ホームページについて

昨年十月にリニューアルして再開しているが、掲示板に連合会とは関係のない書き込みが多く入るようになったことから、本年の一月より掲示板の閲覧に関するIDとパスワードが必要になっている。詳しくは、ホームページの「不正対策」を参照してください。

☆交流教話について

本年九月～十一月にかけて千葉県教会連合会と交流教話をする事となりました。詳細は、後日お知らせします。

① 総会

日時 平成二十一年一月三十一日(土)

十三時三十分～十五時三十分

会場 神奈川教会

議事 平成二十年度事業報告、決算審議

平成二十一年度事業計画、予算案

審議

その他

② 運営委員会

三月二日(月)、六月二日(火)、八月二十六日(水) 十二月十日(木)に開催を予定

③ 立教一五〇年信奉者研修会

「立教一五〇年を迎え、改めて教祖様の信心を頂く」との方針に沿って、教師信徒合同の研修会を開催する。

日時 四月十一日(土)

十三時三十分～十六時三十分

会場 鶴見教会

講師 河井 信吉師 (金光教中野教会)

④ ホームページ活用と展開

活用と展開

⑤ 地域活動

独立一一〇年(二〇一〇年)に集会、講演会を開催することに取り組む

⑥ 連合会だより

『かりん』の発行 年四回(二月、四月、七月、十月) 各八二〇部発行

⑦ 社会奉仕

災害救援活動への対応
各種収集活動の実践

⑧ 親子のつどい

レクリエーションを通して、世代を超えた交流を図る

日時 九月十二日(土) 十時～十五時

会場 こどもの国又は観音崎青少年の村

内容 デイキャンプ(うどん作り、オリエンテーリング又は磯遊び)

⑨ 女性のつどい

教会の枠を超えた親睦と交流を図る

日時 七月二日(木) 十一時～十六時

会場 平塚教会

講師 内容未定

⑩ 教師部

教会布教の充実活性に向けて研鑽を進める。立教一五〇年のお年柄を迎えて、立教の意義について理解を深めるとともに、今日求められる信奉者像を明らかにする

① 教師会の開催 (四回開催)

二月十八日、六月十日、八月十四日、十二月十六日

② 交流教話の実施 (六月～八月に実施)

③ 教師家庭婦人の会の開催

(二月二十二日、十一月二十六日、他例会の開催)

⑪ 信徒部

① 講話と夕食の会

日時 十二月十九日(土)

会場 神奈川教会

内容 未定

② 地域交流会 野毛教会主催のピクニックへの参加などを予定

③ 山梨県地区での活動

④ 役員会の開催

⑫ 首都圏フォーラム活動

フォーラム活動への協力と立教一五〇年首都圏同参への参加

⑬ 神奈川県宗教連盟活動

〈な・が・れ〉

『日本人の劣化』

鎌倉教会在籍教徒 北村 丈一

最近見た或る雑誌の記事で「日本人の劣化」を取り上げたものがあつた。

そう言われてみると、私も近頃の我が国の各界の指導的立場にある人達の質の低下を強く感じていたことに気付かされた。指導層のみならず一般的に国民の質は、永い民族の歴史に根ざすものだが、教育の質、それも知識、技術教育のみならず道徳、更に突き詰めれば精神、心の問題まで行き着くものである。どれだけ優秀な知識・技術を持つ人間でも、精神が未成熟では質としては問題がある。中でも私は心の問題が今の日本人にとって最も重大な問題だと考える。心の持ち方をどのように培うのか？古より「天をも懼れぬ」という言葉があるが、まずは人間を超越した力を素直に認めることが人間としての基本であろう。このお道では、天地金乃神様、生神金光大神様に心を預ける我が身の幸いを深く感じるものである。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田 光一

横浜市神奈川区青木町六一二十五

〒221-0057 金光教神奈川教会内